

大雨のシーズンに備えて、自宅も災害対策しませんか

●風水害に備える

雨や風が強くなってからの対策は危険です。日頃から家屋の点検をしておきましょう。

屋根や壁の改修に住宅リフォーム助成を活用できます

区内に主たる事業所(本社)がある中小事業者にはリフォーム工事を発注する場合、工事費用の一部を助成します。

※工事開始前に仮申請の手続きが必要です

▶対象 防災・防犯対策、バリアフリー化など区が定める助成対象工事、玄関周りの水場の確保や居室内の換気機能の向上などコロナ禍における新しい生活様式への対応工事

※助成金の額は工事内容により異なります

▶問合せ先 住宅相談窓口(建築調整課住宅担当内)

☎5744-1343 FAX5744-1558



詳細はコチラ

●浸水軽減に向けて工事費の一部を助成します

雨水タンク(雨水貯留槽)や浸透ます・雨水浸透管設置についてはコチラ



私道排水設備についてはコチラ



▶問合せ先 建築調整課地域道路整備担当

☎5744-1308 FAX5744-1558

●土のうを準備

浸水防止には土のうが有効です。区では無料で土のうを配布しています(配布した土のうは回収していません)。台風や大雨が予想される場合は、土のうが不足することがあるため、日頃から準備をお願いします。



詳細はコチラ

▶問合せ先

地域基盤整備第一課 ☎5764-0631 FAX5764-0633

地域基盤整備第二課 ☎5713-2007 FAX5713-2009

地域基盤整備第三課 ☎3726-4303 FAX3726-4318

●がけ崩れのリスクに備える

がけ・擁壁の所有者や管理者は、がけ崩れが起こらないよう日頃から点検や整備をしましょう。がけなどの整備工事に向けて、アドバイザーを派遣する制度を設けましたので、まずはご相談ください。

がけや擁壁の整備工事について

(助成期限を令和9年3月末まで延長しました)

詳細はコチラ▶



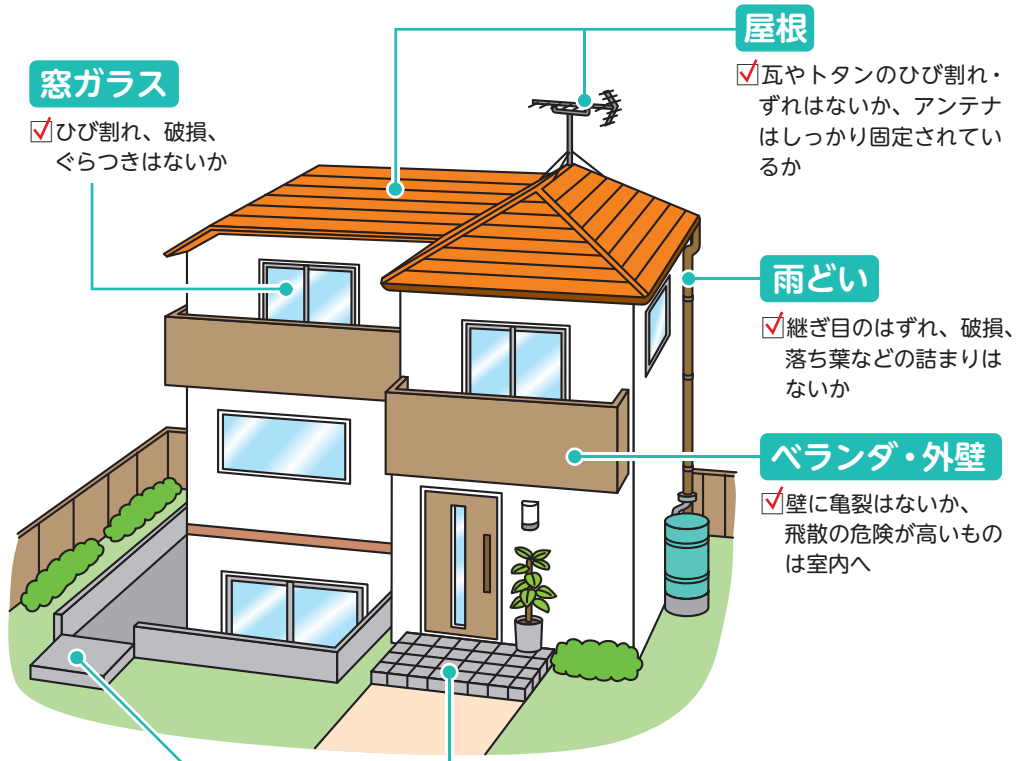
▶問合せ先 がけや擁壁の相談について=建築審査課構造審査担当

☎5744-1389 FAX5744-1557

整備工事の助成・アドバイザー派遣制度について

=防災まちづくり課耐震改修担当

☎5744-1349 FAX5744-1526



窓ガラス

☑ひび割れ、破損、ぐらつきはないか

屋根

☑瓦やトタンのひび割れ・ずれはないか、アンテナはしっかり固定されているか

雨どい

☑継ぎ目のはずれ、破損、落ち葉などの詰まりはないか

ベランダ・外壁

☑壁に亀裂はないか、飛散の危険が高いものは室内へ

敷地が低い場合や地下室、半地下の浸水防止

- 半地下や地下の玄関には、道路面より少し高く階段を設ける、止水板を設置する
- 地下室の電源コンセントは壁の高い位置に配置する、地下室専用の分電盤を設ける
- 地下室、半地下、道路より低い敷地からの排水は、ポンプ設備を設ける

▶問合せ先 建築審査課建築審査担当 ☎5744-1388 FAX5744-1557

擁壁の上には雨水が浸透しないよう不透水層や排水溝を設ける



擁壁の水抜き穴を清掃する

擁壁のひび割れ・膨らみがないかを確認する

インフォメーション

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ



詳細はコチラ▶

相談窓口

●症状がある・感染が疑われる方

東京都発熱相談センター

☎5320-4592(※1・2) ☎6258-5780(※1・2)

☎6630-3710(医療機関紹介専用)(※2)

大田区相談センター

(月～金曜、午前9時～午後5時 ※休日を除く)

☎5744-1360 FAX5744-1524

●感染への不安のある方

東京都新型コロナ・オミクロン株コールセンター(※1)

(午前9時～午後10時 土・日曜、休日も対応)

☎0570-550-571 FAX5388-1396

(※1)多言語(英・中・ハングルなど)による相談も可

(※2)24時間対応

区の世帯と人口

令和4年5月1日現在

●世帯数…401,325世帯

●総人口…729,523人

日本人人口…706,156人(男…351,128人 女…355,028人)

外国人人口…23,367人(男…11,128人 女…12,239人)

●面積…61.86km²

11ch

大田区広報番組

6月

シティーニュース おおた

…おおた国際交流センター(Minto Ota)

ユニークおおた

●タイヤ公園
●銭湯特集 蒲田温泉

●放送 ケーブルテレビのJ:COMチャンネル 大田とiTSCOM
で毎日放送! YouTubeでも発信しています。



▲YouTube

●●● 今月の区報は ●●●

6月11日号 特集 空家総合相談窓口

6月21日号 特集 シニアの就労をサポートします

11日号・21日号は新聞折込か駅広報スタンド、区施設、公衆浴場、セブンイレブンで配布。配送サービス(外出困難などの要件有り)も行っていきます。

大田区学クイズに挑戦!



3面の答え「あげパン」

大田区学ミニミニ講座 あげパン編



あげパンは大田区発祥!?

嶺町小学校の調理員さんが昭和27(1952)年の冬ごろに考え出したといわれており、大田区発祥とされています。



詳細はコチラ